

かんたん UI パッケージ  
スキャンオート  
かんたんボックス保存  
インストールガイド



- Mac、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

#### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。  
Apeos、DocuWorks、および Smart WelcomEyes は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

## はじめに

---

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、管理者向けに、かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存のインストール方法を記載しています。かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

### 補足

- 機械のコントローラーソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。

富士ゼロックス株式会社

## 本書の使い方

---

本書は、お使いの機械にかんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存をインストールする方法について記載しています。

お使いの機械の操作方法については、『管理者ガイド』、または『ユーザーズガイド』を参照してください。

## 本書の構成

---

本書は、次の構成になっています。

### ■「機能の概要」

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存に含まれる各機能の、主な特長を説明しています。

### ■「インストールする前に」

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存の対応機種や動作環境、あらかじめ必要な機械での設定について説明しています。

### ■「インストールの手順」

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を、お使いの機械にインストールする手順について説明しています。

### ■「アンインストール / バージョンアップの手順」

お使いの機械にインストールされたかんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を、アンインストール、およびバージョンアップする手順について説明しています。

### ■「かんたん UI パッケージの各機能を使用する前に」

かんたん UI パッケージに含まれる、各機能を利用する前に必要な設定を説明しています。

### ■「かんたん UI パッケージの各機能を利用するための環境設定」

かんたん UI パッケージの機能ごとに必要な設定を説明しています。

### ■「スキャンオートを利用するための環境設定」

スキャンオートを利用するための設定を説明しています。

### ■「かんたんボックス保存を利用するための環境設定」

かんたんボックス保存を利用するための設定を説明しています。

## 本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

### 注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

### 補足

- 補足事項を記述しています。

### 参照

- 参照先を記述しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。

「       」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本書内にある参照先を表しています。</li> <li>• 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。</li> </ul>
『       』	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参照するマニュアルを表しています。</li> </ul>
[       ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li> <li>• コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li> </ul>
<       > ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。</li> </ul>
<       > キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターのキーボード上のキーを表しています。</li> </ul>
>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「[仕様設定 / 登録] &gt; [登録 / 変更] &gt; [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。</li> <li>• コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。 例：「[スタート] &gt; [検索] &gt; [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。</li> <li>• 参照先は、次のように表しています。 例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」&gt;「共通設定」&gt;「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。</li> </ul>

---

# 目次

---

はじめに .....	3
本書の使い方 .....	4
本書の構成 .....	4
本書の表記 .....	5
機能の概要 .....	7
かんたん UI パッケージについて .....	7
スキャンオートについて .....	9
かんたんボックス保存について .....	9
インストールする前に .....	10
対応機種 .....	10
動作環境 .....	10
対応 OS .....	10
カスタムサービス機能の設定 .....	11
環境設定 .....	14
CentreWare Internet Services での SSL/TLS 設定 .....	16
インストールの手順 .....	19
かんたん UI パッケージのインストール手順 .....	19
スキャンオートのインストール手順 .....	22
かんたんボックス保存のインストール手順 .....	24
インストール結果の確認 .....	26
アンインストール / バージョンアップの手順 .....	28
かんたん UI パッケージのアンインストール / バージョンアップの手順 .....	28
スキャンオートのアンインストール / バージョンアップの手順 .....	30
かんたんボックス保存のアンインストール / バージョンアップの手順 .....	32
かんたん UI パッケージの各機能を使用する前に .....	35
メニュー画面の設定 .....	35
かんたんメニューの設定 .....	36
かんたん UI パッケージの各機能を利用するための環境設定 .....	40
スキャンオートを利用するための環境設定 .....	41
かんたんボックス保存を利用するための環境設定 .....	42
索引 .....	43
本機能を利用できる機種とソフトウェアオプションのパスワード .....	44

# 機能の概要

## かんたん UI パッケージについて

かんたん UI パッケージは、複合機でよくお使いの機能を、より簡単な操作で利用できるようにするための追加型アプリケーションです。

かんたん UI パッケージでは、次の機能がインストールされます。

### 補足

- 各機能の詳細、操作方法、および使用上の注意事項については、『かんたん UI パッケージ 取扱説明書』を参照してください。

### ■かんたんメニュー

よく使う機能だけを大きく表示させたメニュー画面を、機械管理者が作成し、通常のメニュー画面の代わりに表示できます。また、認証モード運用時は、認証ユーザーが個々に自分の使うボタンだけを配置させることもできます。

「かんたんメニュー」画面では、次の機能ボタンが初期表示されます。

- かんたん UI パッケージの機能ボタン
  - かんたんコピー
  - かんたんボックス保存
- 既存の機能ボタン
  - ボックス操作
  - ファクス



### 注記

- 「仕様設定 / 登録」画面の、[集計管理] > [集計管理機能の運用] で、[ネット集計管理] に設定している場合は、「かんたんメニュー」は利用できません。通常のメニュー画面をご利用ください。
- お使いの機械のコントローラソフトウェアのバージョンによって、かんたん UI パッケージと音声ナビを併設した場合、音声ナビ使用時にエラー画面が表示され使用できない場合があります。かんたん UI パッケージと音声ナビは併設しないようにお願いいたします。
- 追加型アプリケーションである「かんたんコピー」、「かんたんボックス保存」、「プライベートプリント（かんたん確認）」、および「かんたんメニュー」などは、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。

### 補足

- お使いの機械がファクス機能に対応していない場合は、[ファクス] は表示されません。[ファクス] の後ろにある機能ボタンが1つずつ前に移動して表示されます。
- かんたん UI パッケージに含まれる [プライベートプリント（一括出力）] や [プライベートプリント（かんたん確認）] は、初期状態の「かんたんメニュー」画面には表示されません。これらのプライベートプリント機能を使用する場合は、「かんたんメニューの設定」(P.36) を参照して、機能ボタンを追加してください。なお、プライベートプリント機能を使用するには、お使いの機械でプライベートプリントの設定がされている必要があります。プライベートプリントの設定方法は、『管理者ガイド』を参照してください。

### ■かんたんコピー

通常のコピー画面の、よく使う機能を最初の画面にまとめてあり、簡単にコピーできます。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「かんたんコピー」とは別の機能ボタンを作成したりできます。

## ■かんたんボックス保存

各ユーザーが利用できる親展ボックスだけが表示され、スキャンしたデータの保存先が簡単に選択できます。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「かんたんボックス保存」とは別の機能ボタンを作成したりできます。

## ■プライベートプリント（一括出力）

認証ユーザーがプライベートプリントとして蓄積している、まだプリントしていない文書を、一度にプリントできます。

### 補足

- この機能ボタンは、初期状態の「かんたんメニュー」画面には表示されていません。

## ■プライベートプリント（かんたん確認）

見やすい画面表示で、プライベートプリント文書を簡単に確認できます。

また、認証ユーザーがコンピューターからプライベートプリントを指示したときのプリント設定を、プリント時に変更したり、プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を、再度プリントしたりできます。

### 補足

- この機能ボタンは、初期状態の「かんたんメニュー」画面には表示されていません。

## ■ワンタッチアプリ

ワンタッチアプリとは、原稿をセットし、メニュー画面のボタンを押すだけでジョブがスタートする機能ボタンです。また、ボタンを押した直後に、機能の概要を説明する画面を表示させ、誤操作を防ぐこともできます。

## 通常のメニュー画面を使いたい場合は

かんたん UI パッケージをインストールすると、通常のメニュー画面に「かんたんコピー」や、「かんたんボックス保存」、「プライベートプリント（一括出力）」、および「プライベートプリント（かんたん確認）」ボタンが追加されます。これらの機能は、「かんたんメニュー」画面を使わないで、通常のメニュー画面からも使用できます。

### 注記

- 機械のコントローラーソフトウェアのバージョンによって、かんたん UI パッケージをインストールしても、通常のメニュー画面に機能ボタンが表示されない場合があります。その場合は、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [メニュー画面の機能配列] で、使用する機能ボタンを設定してください。詳しい手順は、『管理者ガイド』を参照してください。
- 通常のメニュー画面では、ユーザーが作成したワンタッチアプリ、および [アプリの複製] で作成した機能ボタンを利用できません。
- 通常のメニュー画面上の「かんたんコピー」、「かんたんボックス保存」では、ワンタッチアプリの作成やアプリの複製はできません。



## スキャンオートについて

---

原稿をセットして、〈スタート〉ボタンを押すだけでスキャンができます。

スキャンデータは、PDF または DocuWorks ファイルとして、指定したメールアドレス（認証機能を利用している場合は、認証ユーザーのメールアドレス）宛てに送信できます。

また、バージョン 1.7 以降ではスキャナー（PC 保存）機能でスキャンデータをコンピュータに保存できます。

### 補足

- スキャンオートの詳細、操作方法、および使用上の注意事項については、『スキャンオート 取扱説明書』を参照してください。

## かんたんボックス保存について

---

かんたんボックス保存は、複合機の親展ボックス保存機能を、より簡単な操作で利用できるようにするための追加型アプリケーションです。

各ユーザーが利用できる親展ボックスだけが表示され、スキャンしたデータの保存先が簡単に選択できます。

かんたんボックス保存はかんたん UI パッケージにも含まれる機能ですが、単独でもインストールできます。

### 補足

- かんたん UI パッケージに含まれるかんたんボックス保存と、単独でインストールするかんたんボックス保存は、同じ機能を提供します。
- かんたんボックス保存の「アプリの複製」と「ワンタッチアプリの作成」機能は、かんたん UI パッケージのかんたんメニュー画面でだけ利用できます。かんたん UI パッケージがインストールされていない環境では利用できません。
- かんたんボックス保存の詳細、操作方法、および使用上の注意事項については、『かんたんボックス保存 取扱説明書』を参照してください。

## インストールする前に

---

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存をインストールする前に、対応機種や動作環境を確認し、機械での設定をしておく必要があります。

### 対応機種

---

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を利用できる機種については、最終ページ (P.44) をご覧ください。

### 動作環境

---

かんたん UI パッケージに含まれる各機能、スキャンオート、およびかんたんボックス保存は、次の環境で動作します。お使いの機械の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- プリンターキット搭載機
- スキャナーキット搭載機

#### 補足

- ソリッドステートドライブを装着した機械をお使いの場合、「ハードディスク」は、「ソリッドステートドライブ」と読み替えてください。

お使いの機械が、内蔵ハードディスク、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。

- 1 操作パネルの〈機械確認 (メーター確認)〉ボタンを押します。
- 2 [機械状態 レポート出力] タブの [機械構成] を押します。
- 3 [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。
- 4 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

### 対応 OS

---

お使いの機械でかんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存をインストール、アンインストール、およびバージョンアップするときは、ネットワークに接続されたコンピューターを利用します。

本機能のインストールツールが対応する、コンピューターの OS は、次のとおりです。

- Microsoft Windows Vista® Service Pack 1/2 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 7 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 8 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 8.1 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 10 日本語 / 英語版

- Microsoft Windows Vista 64 ビット Service Pack 1/2 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 7 64 ビット 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 8 64 ビット 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 8.1 64 ビット 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 10 64 ビット 日本語 / 英語版

## カスタムサービス機能の設定

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を使用するには、カスタムサービス機能が必要になります。

カスタムサービス機能を使用するための設定には、次の 2 つの方法があります。どちらの方法で設定するかは、お使いの機種によって異なります。機種については最終ページ (P.44) をご覧ください。

- ソフトウェアオプションのパスワードを設定する
- CentreWare Internet Services のメニューからカスタムサービスを有効にする

### 注記

- パスワードを設定、またはカスタムサービスを有効化すると、機械のウォームアップ時間が通常よりも数秒長くなります。
- 機械にあらかじめカスタムサービスがインストールされている場合、パスワードを設定またはカスタムサービスを有効化すると、メニュー画面にカスタムサービスの機能ボタンが追加されます。使わない機能ボタンは、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [メニュー画面の機能配列] で、削除することをお勧めします。詳しい手順は、『管理者ガイド』を参照してください。

### 補足

- お使いの機械の [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示される場合は、すでにカスタムサービス機能が使用できる状態です。「環境設定」(P.14) の手順に進んでください。

## ソフトウェアオプションのパスワード設定

ソフトウェアオプションのパスワードについては、最終ページ (P.44) をご覧ください。

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

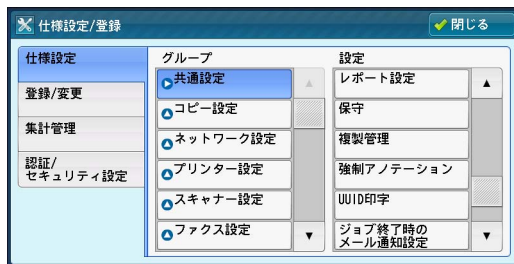
3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



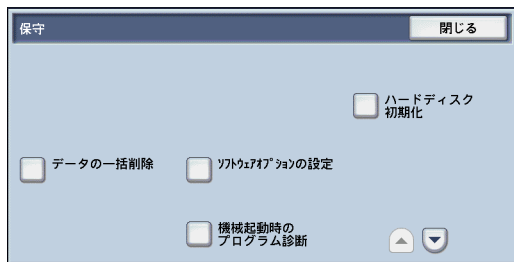
補足

- 本書で記載している画面は、お使いの機種により異なります。

4 [仕様設定] > [共通設定] > [保守] を選択します。



5 [ソフトウェアオプションの設定] を選択します。



6 キーボードを使用して、お使いの機種のパスワードを入力します。



7 [再起動] を押します。

機械が再起動します。

## CentreWare Internet Services からカスタムサービスの有効化

- 1 ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。

### 補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 3 [プロパティ] > [セキュリティ] > [プラグイン / カスタムサービス設定] > [カスタムサービス] で、[有効] にチェックマークを付けます。



- 4 [新しい設定を適用] をクリックします。
- 5 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。

確認画面で [OK] をクリックすると、機械が再起動し、設定した値が反映されます。

## 環境設定

お使いの機械で、かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を利用するための環境を設定する必要があります。

項目	設定内容	参照
SOAP ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>SOAP ポート：起動</li> <li>ポート番号：80</li> </ul>	「SOAP ポート」(P.14)
プロトコル設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための設定</li> </ul>	「プロトコル設定」(P.15)
Web ブラウザー設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>[外部アクセスバージョンの選択]：[V5]</li> <li>[終了時のキャッシュ削除]：[しない]</li> <li>[キャッシュの使用]：[する]</li> </ul>	「Webブラウザ設定」(P.15)

なお、認証機能を利用する場合は、次のように設定されているか確認してください。

項目	設定内容	参照
認証方式の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>[認証方式の設定]：[本体認証]または[外部認証]</li> <li>ユーザーの登録</li> </ul>	「認証方式の設定」(P.15)
アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>[デバイスへのアクセス]：[制限する]</li> </ul>	「アクセス制御」(P.16)

### 注記

- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、かんたん UI パッケージに含まれる機能、スキャンオート、およびかんたんボックス保存において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーやスキャンの利用を制限していても、かんたん UI パッケージに含まれる機能、スキャンオート、およびかんたんボックス保存は、利用可能な状態となります。
- 本機能は、[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate (関連商品)、および IC カードリーダー (オプション) を接続している場合、IC カードの情報を利用できません。

### 参照

- 各設定の詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

### 補足

- 設定内容によっては、機械の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

## SOAP ポート

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 次の項目を設定します。
  - [SOAP - ポート]：[起動]
  - [SOAP - ポート番号]：[80]
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## プロトコル設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目を設定します。
- 2 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 3 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## Web ブラウザー設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] > [外部アクセスバージョンの選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

### 補足

- [Web ブラウザー設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定、またはカスタムサービスの有効化が必要です。詳しくは、「カスタムサービス機能の設定」(P.11) を参照してください。

- 2 [V5] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [終了時のキャッシュ削除] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 4 [しない] を選択し、[決定] を押します。
- 5 [キャッシュの使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6 [する] を選択し、[決定] を押します。
- 7 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 8 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## 認証方式の設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を押します。
- 2 [本体認証] または [外部認証] を選択し、[決定] を押します。
- 3 本体認証の場合は、本機能を使用するユーザーを登録します。  
[仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を押します。

### 補足

- 外部認証の場合は、手順 9 に進みます。

- 4 登録する番号を選択し、[登録 / 確認] を押します。
- 5 登録する User ID を入力し、[決定] を押します。
- 6 [ユーザー名] を押して、登録するユーザー名を入力し、[決定] を押します。

- 7 必要に応じて、その他の項目を設定し、[閉じる] を押します。
- 8 手順 4 ～ 7 を繰り返し、ユーザーを登録します。
- 9 [閉じる] を押します。
- 10 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## アクセス制御

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] > [デバイスへのアクセス] を選択します。
- 2 [制限する] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## CentreWare Internet Services での SSL/TLS 設定

---

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存は、インストール、アンインストール、およびバージョンアップ時に、ネットワークに接続されたコンピューターとお使いの機械との間で SSL/TLS プロトコルを使用して HTTP 通信を行います。

SSL/TLS を有効にするため、CentreWare Internet Services で次の設定が必要です。

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。

### 補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- 3 [プロパティ] タブ> [セキュリティ] > [証明書の設定] で、[証明書の作成] > [自己証明書] > [次へ] の順にクリックします。

#### 補足

- お使いの機種によっては、[プロパティ] タブ> [セキュリティ] > [証明書の設定] で [自己証明書の作成] をクリックします。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。



- 4 [新しい設定を適用] をクリックします。



- 5 設定が更新されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

- 6 [プロパティ] > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] で、[HTTP-SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付けます。



- 7 [新しい設定を適用] をクリックします。
- 8 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
- 9 確認画面で [OK] をクリックすると、機械が再起動し、設定した値が反映されます。

# インストールの手順

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を、お使いの機械にインストールする手順について説明します。

## 補足

- 機械の操作中およびジョブ実行中はインストールできません。
- インストール中は、機械のパネルには、外部機器からの設定中の表示と通常画面が繰り返し表示されます。通常画面に戻ったときに次のようなことが発生すると、インストールが途中で終了する場合があります。
  - 機械の操作パネルを操作した
  - Smart WelcomEyes が人を検出した
- インストールが途中で終了した場合は、表示された画面で[インストーラーを再実行する]のチェックボックスを有効にして[再インストール]をクリックしてください。インストール画面に戻って再度インストールを実行することができます。

## かんたん UI パッケージのインストール手順

かんたん UI パッケージをインストールする手順について説明します。

- 1 お使いのコンピュータで、次の弊社公式サイトのダウンロードページから、インストールツールをダウンロードします。

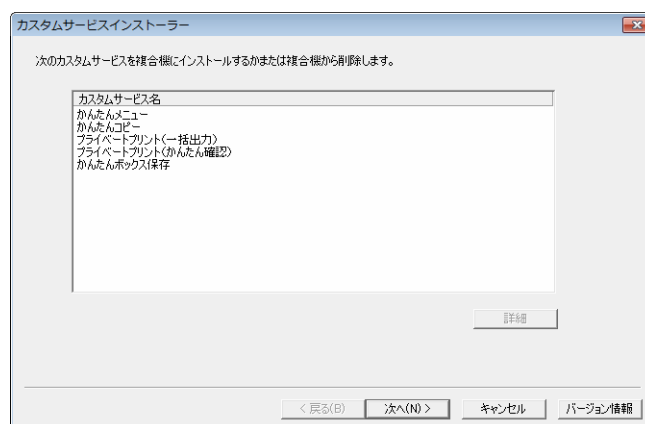
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

- 2 ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。

## 補足

- [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

- 3 [次へ] をクリックします。



- 4 かんたん UI パッケージをインストールする機械の IP アドレス、および機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[追加] をクリックします。

IP アドレスの例：192.0.2.1

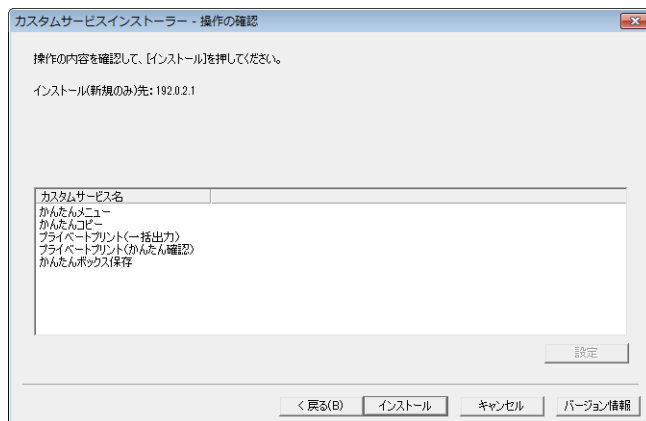
#### 補足

- 複数の機械にインストールする場合は、この手順を繰り返します。
- [エクスポート] をクリックすると、ここで指定した情報を CSV ファイルに保存できます。また、[インポート] をクリックして、保存した CSV ファイルの情報を読み込むこともできます。

- 5 機械の IP アドレスが登録されたら、[次へ] をクリックします。

- 6 [インストール] を選択し、[次へ] をクリックします。

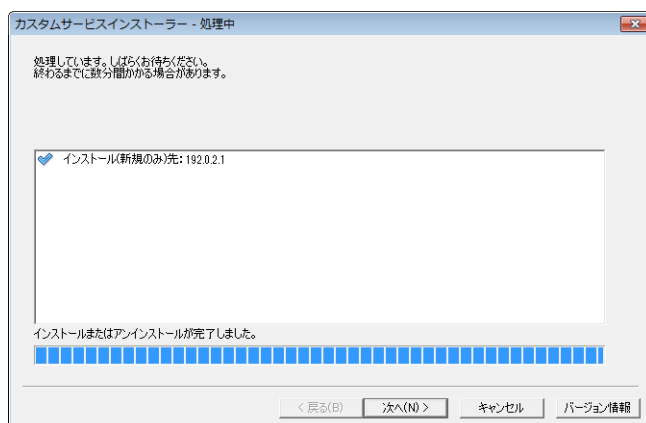
## 7 「インストール」 をクリックします。



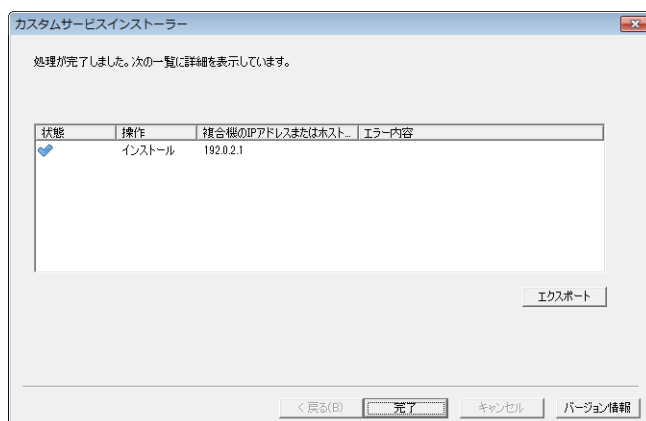
### 補足

- インストールの完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。

## 8 「次へ」 をクリックします。



## 9 「完了」 をクリックします。



### 補足

- インストールが完了したら、「インストール結果の確認」(P.26) を参照し、機械に正しくインストールされているか確認してください。

## スキャンオートのインストール手順

スキャンオートをインストールする手順について説明します。

- 1 お使いのコンピュータで、次の弊社公式サイトのダウンロードページから、インストールツールをダウンロードします。

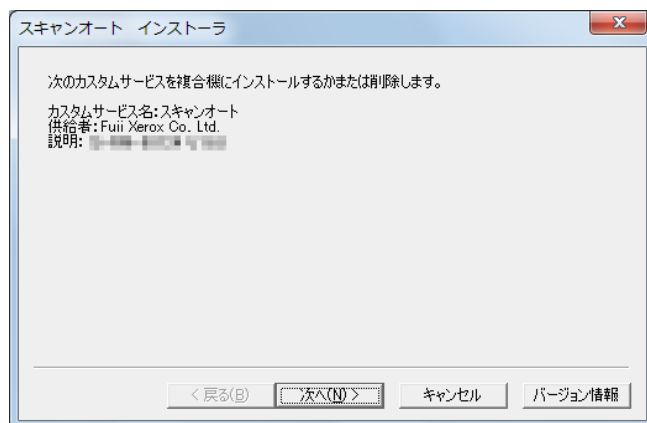
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

- 2 ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。

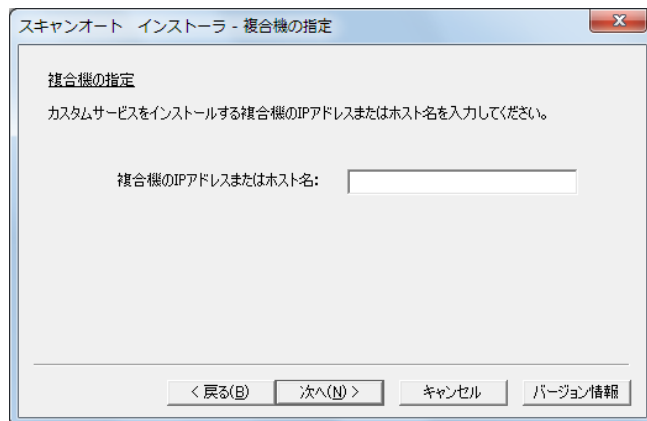
補足

- [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

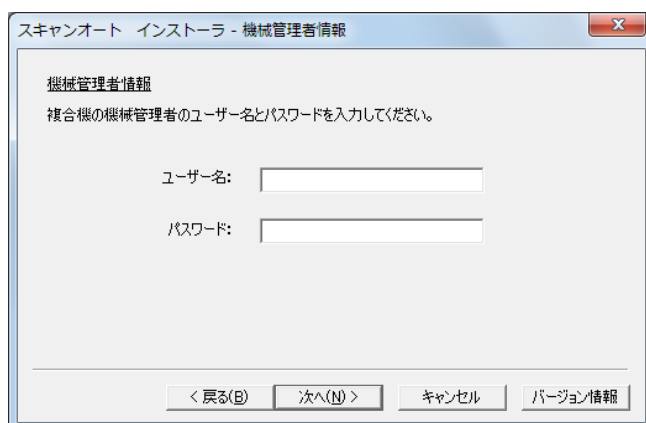
- 3 [次へ] をクリックします。



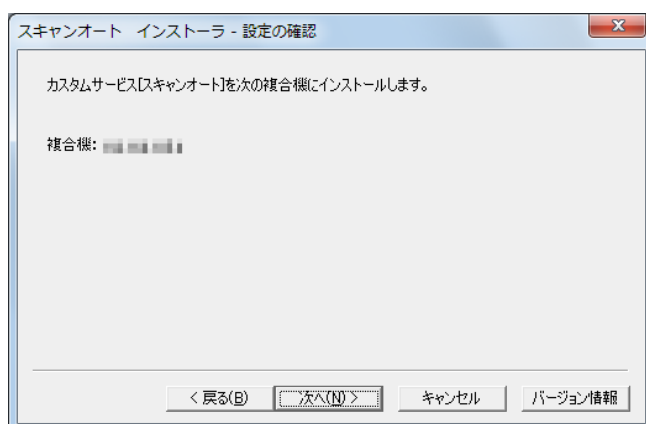
- 4 スキャンオートをインストールする機械の IP アドレスまたはホスト名を入力し、[次へ] をクリックします。



- 5 スキャンオートをインストールする機械の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



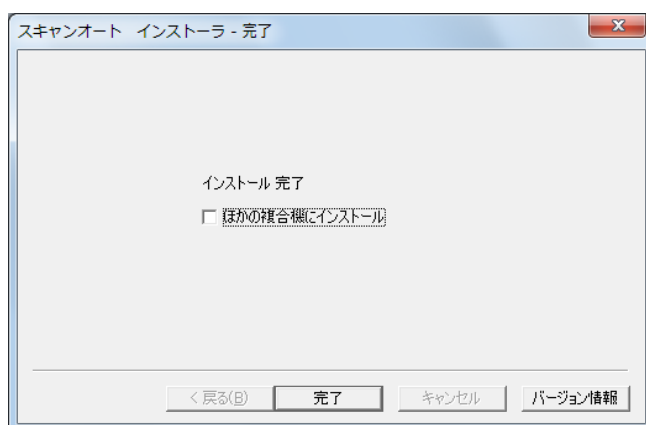
- 6 確認画面が表示されます。設定内容を確認し、[次へ] をクリックします。



**補足**

- インストールの完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。

- 7 [完了] をクリックします。



**補足**

- インストールが完了したら、「インストール結果の確認」(P.26) を参照し、機械に正しくインストールされているか確認してください。

## かんたんボックス保存のインストール手順

かんたんボックス保存をインストールする手順について説明します。

- 1 お使いのコンピュータで、次の弊社公式サイトのダウンロードページから、インストールツールをダウンロードします。

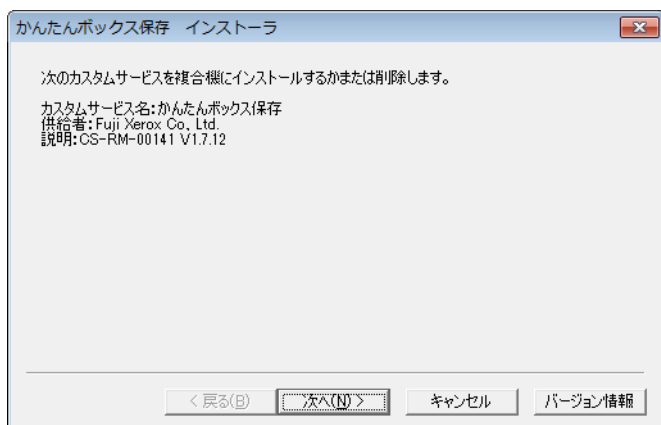
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

- 2 ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。

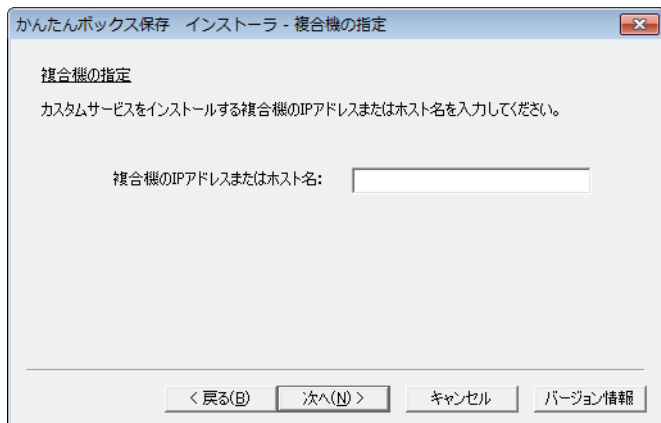
### 補足

- [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

- 3 [次へ] をクリックします。

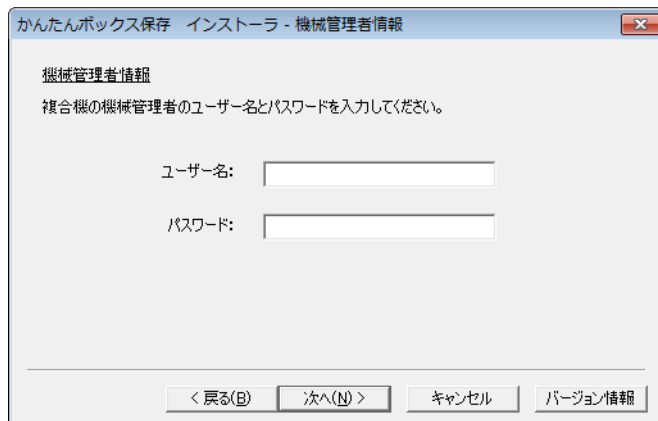


- 4 かんたんボックス保存をインストールする機械の IP アドレスまたはホスト名を入力し、[次へ] をクリックします。





- 5 かんたんボックス保存をインストールする機械の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



かんたんボックス保存 インストーラ - 機械管理者情報

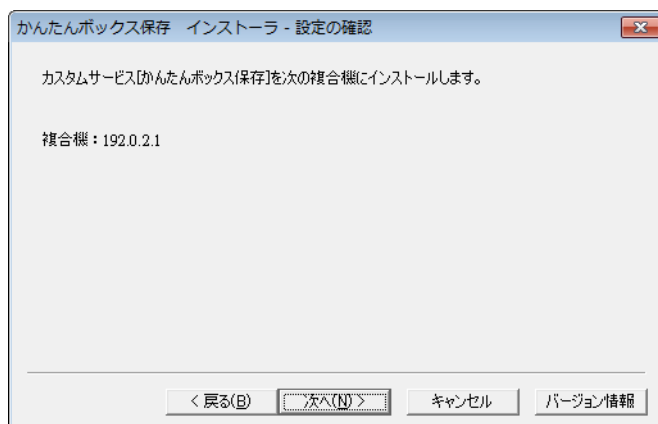
機械管理者情報  
複合機の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名:

パスワード:

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   バージョン情報

- 6 確認画面が表示されます。設定内容を確認し、[次へ] をクリックします。



かんたんボックス保存 インストーラ - 設定の確認

カスタムサービス[かんたんボックス保存]を次の複合機にインストールします。

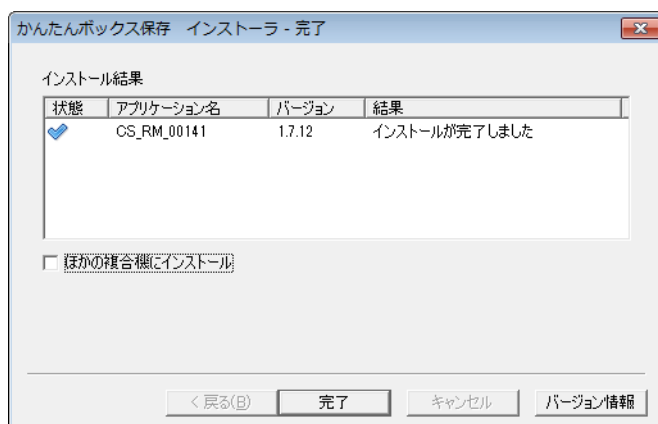
複合機: 192.0.2.1

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   バージョン情報

#### 補足

- インストールの完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。

- 7 [完了] をクリックします。



かんたんボックス保存 インストーラ - 完了

インストール結果

状態	アプリケーション名	バージョン	結果
✓	CS_RM_00141	1.7.12	インストールが完了しました

☐ ほかの複合機にインストール

< 戻る(B)   完了   キャンセル   バージョン情報

#### 補足

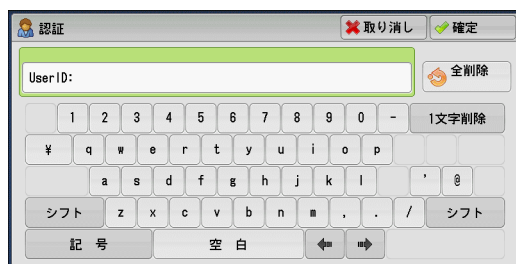
- インストールが完了したら、「インストール結果の確認」(P.26) を参照し、機械に正しくインストールされているか確認してください。

## インストール結果の確認

かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存が、機械に正しくインストールされているか確認する手順について説明します。

### 1 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

- 1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



#### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

### 2 メニュー画面に、次の機能ボタンが表示されているとインストールが完了しています。



かんたん UI パッケージをインストールした場合

- かんたんメニュー
- かんたんコピー
- プライベートプリント (一括出力)
- プライベートプリント (かんたん確認)
- かんたんボックス保存

スキャンオートをインストールした場合

- スキャンオート

かんたんボックス保存をインストールした場合

- かんたんボックス保存

**注記**

- 機械のコントローラソフトウェアのバージョンによって、メニュー画面に機能ボタンが表示されない場合があります。その場合は、機能設定リストをプリントして、「カスタムサービス」に各機能の ID が記載されていることを確認してください。  
各機能の ID は次のとおりです。

CS-RM-00108    かんたんメニュー  
CS-RM-00109    かんたんコピー  
CS-RM-00122    プライベートプリント（一括出力）  
CS-RM-00140    プライベートプリント（かんたん確認）  
CS-RM-00141    かんたんボックス保存  
CS-RM-00124    スキャンオート

その後、「かんたん UI パッケージの各機能を使用する前に」(P.35)に進みます。

**補足**

- 通常、インストールされた機能ボタンはメニュー画面の最終ページに追加されます。各機能ボタンが表示されているかどうか、メニュー画面の全ページを確認してください。
- かんたん UI パッケージの「かんたんメニュー」を押しても「かんたんメニュー」画面が表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「環境設定」(P.14)を参照してください。
- お使いの機械がファクス機能に対応していない場合は、「かんたんメニュー」画面に「ファクス」は表示されません。「ファクス」の後ろにある機能ボタンが1つずつ前に移動して表示されます。

かんたん UI パッケージに含まれる各機能を利用するためには、さらに設定が必要です。続けて、「かんたん UI パッケージの各機能を使用する前に」(P.35)に進んでください。

スキャンオートを利用するためには、「スキャンオートを利用するための環境設定」(P.41)に進んでください。

かんたんボックス保存を利用するためには、「かんたんボックス保存を利用するための環境設定」(P.42)に進んでください。

## アンインストール / バージョンアップの手順

お使いの機械にインストールされたかんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存を、アンインストール、およびバージョンアップする手順について説明します。

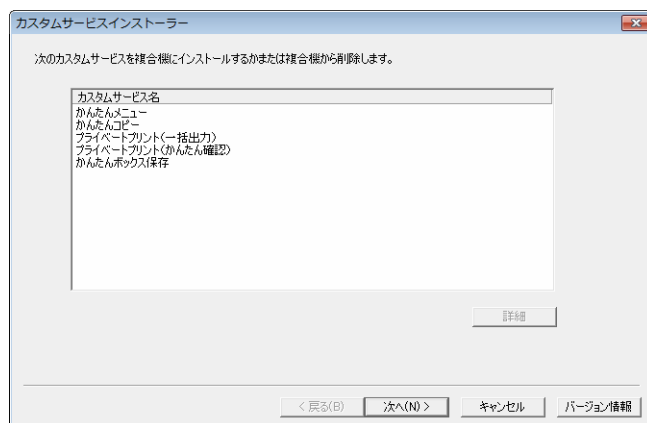
### 補足

- かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存をアンインストールした場合、かんたん UI パッケージ / スキャンオート / かんたんボックス保存に含まれるすべての機能が削除されます。
- かんたん UI パッケージをアンインストールした場合、すべてのユーザーの「かんたんメニュー」の設定が削除されます。
- かんたん UI パッケージの [インストール (新規 / 上書き)] を選択した場合、各ユーザーの「かんたんメニュー」の設定は削除されません。バージョンアップ後も、「かんたんメニュー」画面での機能ボタンの配置や、各機能の画面での初期値、作成したワンタッチアプリ、宛先指定の履歴など、同じ設定を利用できます。ただし、「かんたんメニュー」の管理者設定の [[すべての機能] ボタンの表示]、[一般ユーザーによるカスタマイズ]、[[メニュー] ボタンの動作] の設定情報は引き継がない場合があります。その場合は、設定し直してください。

## かんたん UI パッケージのアンインストール / バージョンアップの手順

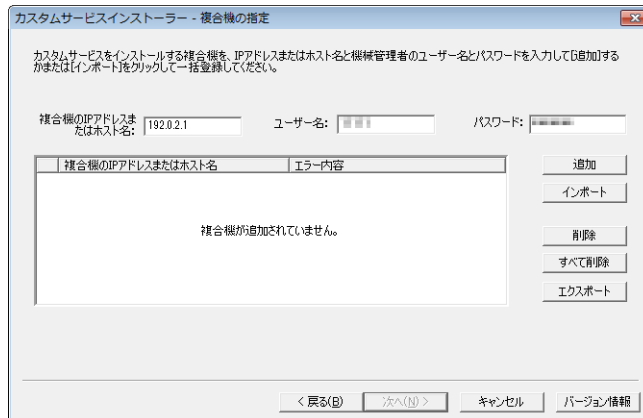
かんたん UI パッケージを、アンインストール、およびバージョンアップする手順について説明します。

- 1 お使いのコンピュータで、インストールツールの exe ファイルをダブルクリックします。
- 2 [次へ] をクリックします。



- 3** かんたんUIパッケージをアンインストール、またはバージョンアップする機械のIPアドレス、および機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[追加] をクリックします。

IP アドレスの例：192.0.2.1



カスタムサービスインストーラー - 複数機の指定

カスタムサービスをインストールする複合機を、IPアドレスまたはホスト名と機械管理者のユーザー名とパスワードを入力して[追加]するかまたは[インポート]をクリックして一括登録してください。

複合機のIPアドレスまたはホスト名: 192.0.2.1    ユーザー名:    パスワード:

複合機のIPアドレスまたはホスト名	エラー内容
192.0.2.1	

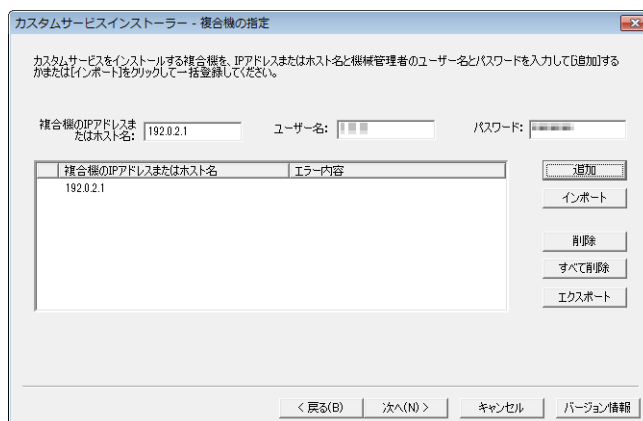
追加  
インポート  
削除  
すべて削除  
エクスポート

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル    バージョン情報

#### 補足

- 複数の機械でアンインストール、またはバージョンアップする場合は、この手順を繰り返します。
- [エクスポート] をクリックすると、ここで指定した情報を CSV ファイルに保存できます。また、[インポート] をクリックして、保存した CSV ファイルの情報を読み込むこともできます。

- 4** 機械の IP アドレスが登録されたら、[次へ] をクリックします。



カスタムサービスインストーラー - 複数機の指定

カスタムサービスをインストールする複合機を、IPアドレスまたはホスト名と機械管理者のユーザー名とパスワードを入力して[追加]するかまたは[インポート]をクリックして一括登録してください。

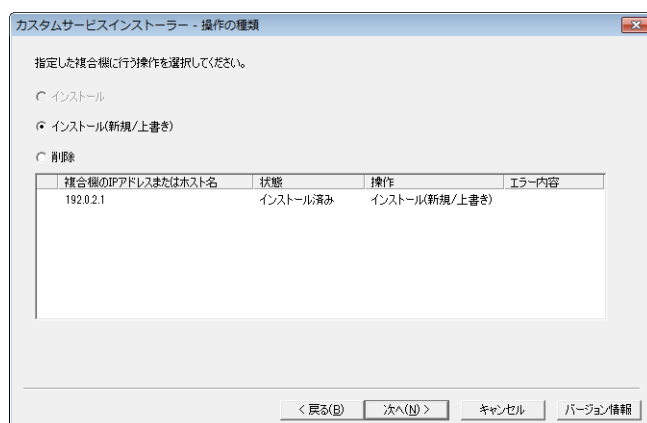
複合機のIPアドレスまたはホスト名: 192.0.2.1    ユーザー名:    パスワード:

複合機のIPアドレスまたはホスト名	エラー内容
192.0.2.1	

追加  
インポート  
削除  
すべて削除  
エクスポート

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル    バージョン情報

- 5** アンインストールする場合は「削除」、バージョンアップする場合は「インストール（新規 / 上書き）」を選択し、「次へ」をクリックします。



**補足**

- 「バージョン情報」をクリックすると、本インストールツールのバージョンが確認できます。なお、インストールツールのバージョンは、「かんたんメニュー」や、各コンテンツのバージョンとは異なります。「かんたんメニュー」や、各コンテンツのバージョンを確認する方法は、『かんたん UI パッケージ 取扱説明書』を参照してください。

- 6** アンインストールする場合は「削除」、バージョンアップする場合は「インストール」をクリックします。

**補足**

- アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されるまでに、数分かかることがあります。

- 7** アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

- 8** 「完了」をクリックします。

**補足**

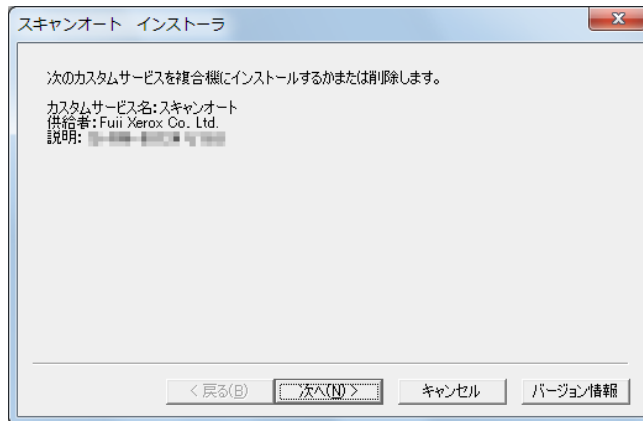
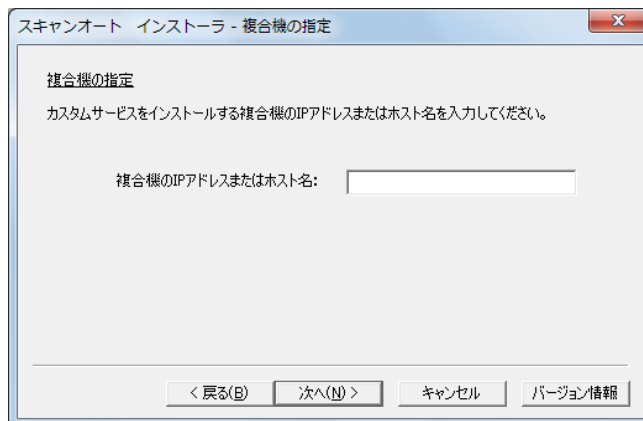
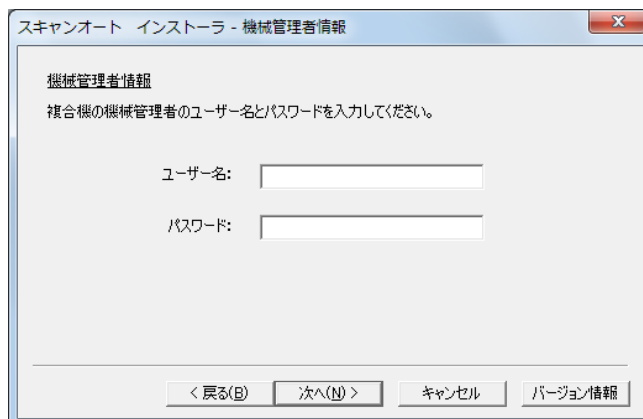
- アンインストールのあと、アンインストールが画面上に反映されず、「かんたんメニュー」画面や、本パッケージに含まれる機能の機能ボタンが表示されたままになることがあります。その場合は、メニュー画面の別のページを表示させる、機能ボタンを押していずれかの機能を起動するなど、一度別の画面を表示させると、画面が更新されます。
- バージョンアップをした場合は、変更を確実に反映するため、機械を再起動してください。

## スキャンオートのアンインストール / バージョンアップの手順

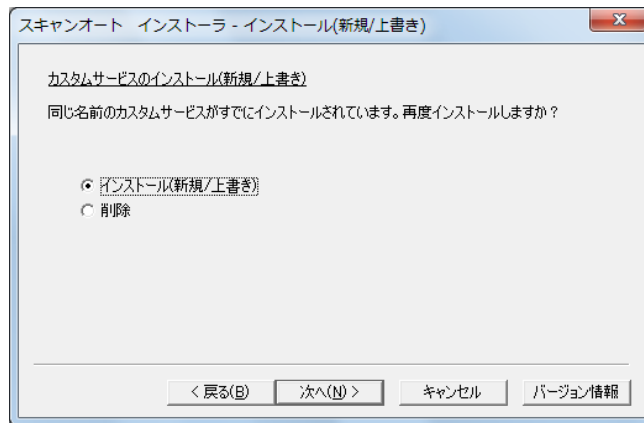
---

スキャンオートを、アンインストール、およびバージョンアップする手順について説明します。

- 1** お使いのコンピュータで、インストールツールの exe ファイルをダブルクリックします。

**2** 「次へ」 をクリックします。**3** スキャンオートをアンインストール、またはバージョンアップする機械のIP アドレスまたはホスト名を入力し、「次へ」 をクリックします。**4** スキャンオートをアンインストール、またはバージョンアップする機械の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、「次へ」 をクリックします。

- 5** アンインストールする場合は「削除」、バージョンアップする場合は「インストール（新規 / 上書き）」を選択し、「次へ」をクリックします。



**補足**

- 「インストール（新規 / 上書き）」を選択した場合、各ユーザーのスキャンオートの設定は削除されません。
- 「バージョン情報」をクリックすると、本インストールツールのバージョンが確認できます。

- 6** 確認画面が表示されます。設定内容を確認し、「次へ」をクリックします。

**補足**

- アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されるまでに、数分かかることがあります。

- 7** アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

**補足**

- アンインストールのあと、アンインストールが画面に反映されず、スキャンオートが表示されたままになることがあります。その場合は、メニュー画面の別のページを表示させる、機能ボタンを押していずれかの機能を起動するなど、一度別の画面を表示させると、画面が新されます。
- バージョンアップをした場合は、変更を確実に反映するため、機械を再起動してください。

## かんたんボックス保存のアンインストール / バージョンアップの手順

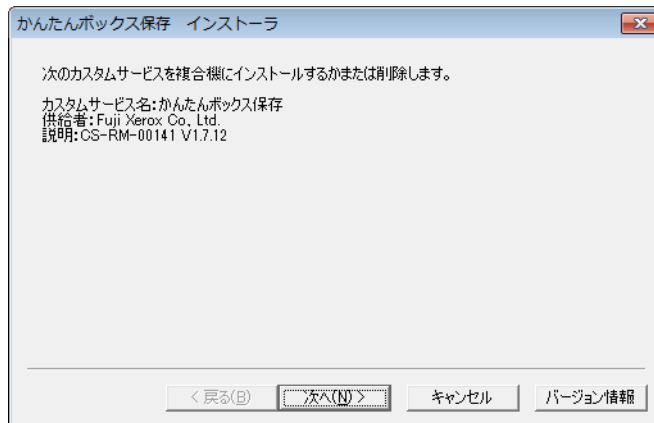
---

かんたんボックス保存を、アンインストール、およびバージョンアップする手順について説明します。

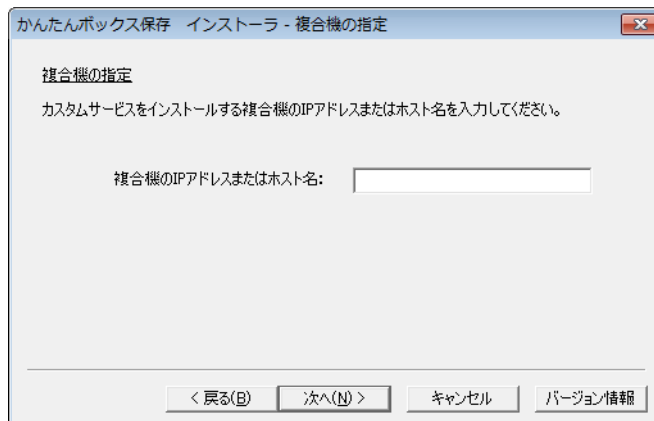
- 1** お使いのコンピュータで、インストールツールの exe ファイルをダブルクリックします。



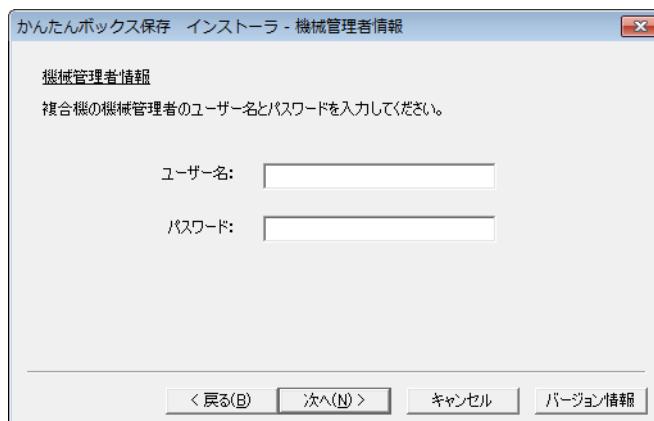
## 2 [次へ] をクリックします。



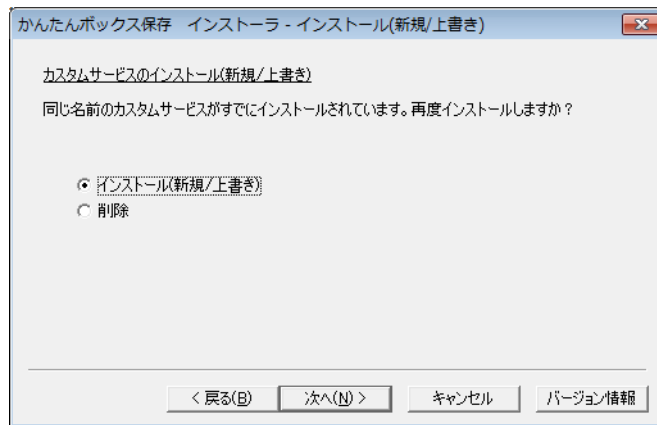
## 3 かんたんボックス保存をアンインストール、またはバージョンアップする機械のIPアドレスまたはホスト名を入力し、[次へ] をクリックします。



## 4 かんたんボックス保存をアンインストール、またはバージョンアップする機械の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



- 5** アンインストールする場合は「削除」、バージョンアップする場合は「インストール（新規 / 上書き）」を選択し、「次へ」をクリックします。



**補足**

- 「インストール（新規 / 上書き）」を選択した場合、各ユーザーの「かんたんボックス保存」の設定は削除されません。
- 「バージョン情報」をクリックすると、本インストールツールのバージョンが確認できます。

- 6** 確認画面が表示されます。設定内容を確認し、「次へ」をクリックします。

**補足**

- アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されるまでに、数分かかることがあります。

- 7** アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

**補足**

- アンインストールのあと、アンインストールが画面上に反映されず、「かんたんボックス保存」が表示されたままになることがあります。その場合は、メニュー画面の別のページを表示させる、機能ボタンを押していずれかの機能を起動するなど、一度別の画面を表示させると、画面が更新されます。
- バージョンアップをした場合は、変更を確実に反映するため、機械を再起動してください。

# かんたん UI パッケージの各機能を使用する前に

かんたん UI パッケージに含まれる、各機能を利用する前に必要な設定を説明します。

## メニュー画面の設定

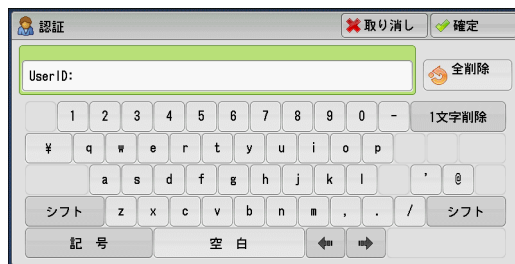
認証時や〈メニュー〉ボタンを押したとき、通常のメニュー画面の代わりに「かんたんメニュー」画面を表示できます。

通常のメニュー画面の設定のまま、かんたん UI パッケージの機能を利用することもできますが、その場合、ワンタッチアプリやアプリの複製機能を使って新しい機能ボタンを作成したり、作成した機能ボタンをメニュー画面に配置して利用することはできません。「かんたんメニュー」画面を表示するように設定してください。

### 補足


- 通常のメニュー画面でかんたん UI パッケージの機能を利用する場合、メニュー画面上には、使用するボタンのみを配置することをお勧めします。[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [メニュー画面の機能配列] でボタンの追加 / 削除、およびボタンの配列を変更してください。詳しくは、『管理者ガイド』を参照してください。

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



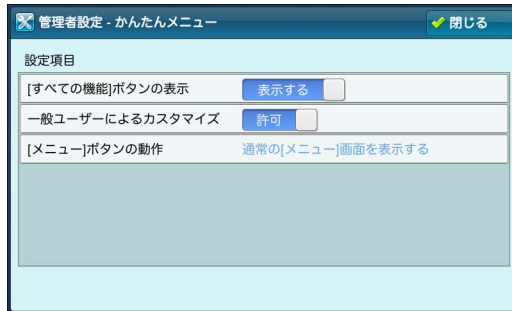
### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

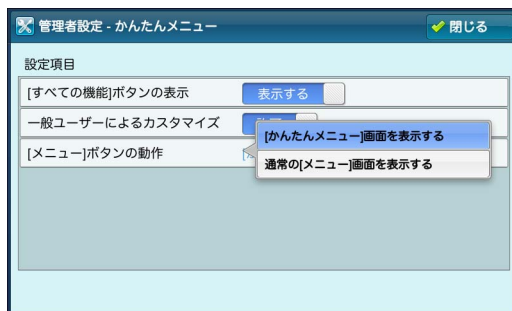
- 3 [かんたんメニュー] を押し、「かんたんメニュー」画面で  (管理者設定) ボタンを押します。



4 [[メニュー] ボタンの動作] を押します。



5 [[かんたんメニュー] 画面を表示する] を選択します。



6 [閉じる] を押します。

7 〈メニュー〉 ボタンを押して、「かんたんメニュー」画面が表示されることを確認します。

## かんたんメニューの設定

かんたん UI パッケージをインストールすると、「かんたんメニュー」画面に初期設定の機能ボタンが表示されます。

かんたん UI パッケージに含まれる、その他の機能を使用したい場合は、機能ボタンを追加してください。

また、初期設定では、お使いの機械で使用できない機能のボタンも表示されることがあります。使用できない機能や、使わない機能のボタンは、削除しておくことをお勧めします。

### 参照

- 「かんたんメニュー」の詳しい操作方法については、の『かんたん UI パッケージ 取扱説明書』を参照してください。

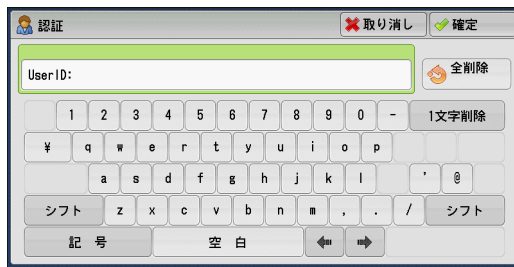
## 機能ボタンの追加

### 補足

- 「かんたんメニュー」画面に表示できる機能ボタンは、32 個（1 ページに 8 個、最大 4 ページ）までです。すでに 32 個の機能ボタンが表示されている場合は、「機能ボタンの削除」(P.38) を参照し、不要な機能ボタンを削除してから追加してください。

1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



#### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

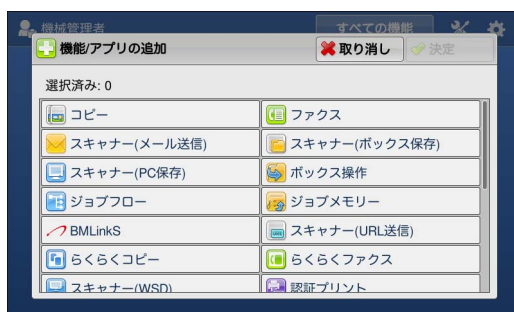
- 3 「かんたんメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



- 4 [機能 / アプリの追加] を選択します。



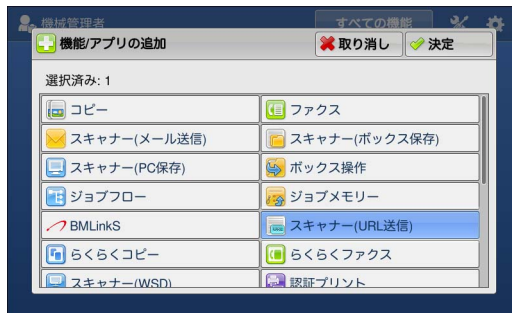
- 5 「かんたんメニュー」画面にボタンを追加したい機能を選択します。



#### 補足

- 複数のアプリを一度に選択できます。
- すでに「かんたんメニュー」画面に機能ボタンが配置されている機能を選択すると、同じ機能ボタンが重複して表示されます。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

## 6 「決定」を押します。



### 補足

- 追加した機能ボタンは、「かんたんメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。

## 機能ボタンの削除

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

- 3 「かんたんメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



4 「メニューの編集」を押します。



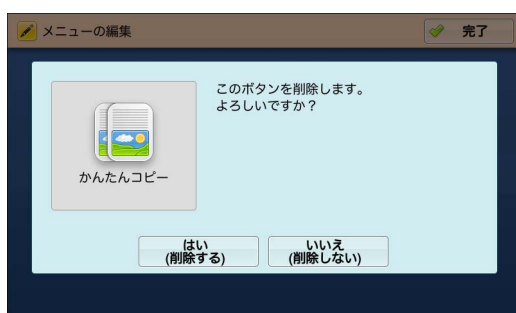
5 削除する機能ボタンを選択します。



6 「削除」を選択します。



7 「はい（削除する）」を押します。



8 「完了」を押します。

## かんたん UI パッケージの各機能を利用するための環境設定

---

かんたん UI パッケージの機能によっては、「かんたんメニュー」を利用するための環境設定に加え、次の設定をする必要があります。

### 参照

- 各設定の詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。
- 「かんたんメニュー」を利用するための環境設定については、「環境設定」(P.14)を参照してください。

### かんたんボックス保存

#### ■表示可能な親展ボックスの登録

- 認証機能を利用している場合  
各認証ユーザーが親展ボックスを登録する。または機械管理者がパスワードのない親展ボックスを登録する。
- 認証機能を利用していない場合  
一般ユーザー、または機械管理者が、パスワードのない親展ボックスを登録する。

### プライベートプリント（一括出力）

#### 補足

- この機能は、認証機能を利用している場合に利用できます。認証機能の設定について、詳しくは「環境設定」(P.14)を参照してください。[認証方式の設定]を[認証しない]に設定し、IC Card Gate (関連商品)、および IC カードリーダー (オプション) を接続している場合は利用できません。

#### ■プライベートプリントの設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] で、[受信制御] を [プライベートプリントに保存] に設定する。

### プライベートプリント（かんたん確認）

#### 補足

- この機能は、認証機能を利用している場合に利用できます。認証機能の設定について、詳しくは「環境設定」(P.14)を参照してください。[認証方式の設定]を[認証しない]に設定し、IC Card Gate (関連商品)、および IC カードリーダー (オプション) を接続している場合は利用できません。

#### ■プライベートプリントの設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] で、[受信制御] を [プライベートプリントに保存] に設定する。



## スキャンオートを利用するための環境設定

スキャンオートを利用するために、次の設定をする必要があります。

### 参照

- 各設定の詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

### 補足

- Web ブラウザーで、JavaScript を有効にしてください。

### ■HTTP 接続の設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [インターネットサービス (HTTP)] > [インターネットサービス - ポート] を [起動] に設定する。

### ■スキャナー (メール送信) の設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール送信] > [メール送信 - ポート] を [起動] に設定する。
- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目を設定する。
- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [本体メールアドレス / ホスト名] で、本体メールアドレスやホスト名などを設定する。
- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [その他の設定] > [メール受信プロトコル] を [SMTP]、または [POP3] に設定する。
- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [メール送受信設定] > [SMTP サーバー設定] で、SMTP サーバーの設定をする。
- 受信プロトコルが POP3 の場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [メール送受信設定] > [POP3 サーバー設定] で、POP3 サーバーの設定をする。

### ■スキャナー (PC 保存) の設定

- コンピューター側でスキャンしたデータを保存する共有フォルダーを作成する。
- SMB プロトコルを使用する場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SMB クライアント] > [SMB クライアント - ポート] を [起動] に設定する。
- FTP プロトコルを使用する場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [FTP クライアント] > [FTP クライアント - ポート] を [起動] に設定する。

### 注記

- FTP サービスの設定方法は、OS 付属のマニュアルを参照してください。Mac OS X 10.7 Lion および OS X 10.8 Mountain Lion を利用する場合の FTP サービスの設定方法は、アップルジャパン社の公式ホームページを参照してください。
- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目を設定する。

### ■認証ユーザーのメールアドレスの設定

- 認証機能を利用している場合は、本機能を使用するユーザーを登録し、ユーザーのメールアドレスを設定する。

## かんたんボックス保存を利用するための環境設定

---

かんたんボックス保存を利用するためには、機械に親展ボックスを登録する必要があります。

- 認証機能を利用している場合  
各認証ユーザーが親展ボックスを登録する。または機械管理者がパスワードのない親展ボックスを登録する。
- 認証機能を利用していない場合  
一般ユーザー、または機械管理者が、パスワードのない親展ボックスを登録する。

### 参照

- 詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

# 索引

---

## 記号・英数

SSL/TLS 設定 ..... 16

## ア

アンインストール ..... 28

## イ

インストール ..... 19

インストールツール ..... 19, 22, 24

## カ

カスタムサービスの有効化 ..... 13

環境設定 ..... 14

環境設定（かんたんボックス保存） ..... 40, 42

環境設定（スキャンオート） ..... 41

環境設定（プライベートプリント  
（一括出力）） ..... 40

環境設定（プライベートプリント  
（かんたん確認）） ..... 40

かんたん UI パッケージ ..... 7

## キ

機能ボタンの削除 ..... 38

機能ボタンの追加 ..... 36

## ソ

ソフトウェアオプションのパスワード ..... 11

## タ

対応 OS ..... 10

対応機種 ..... 10

## ト

動作環境 ..... 10

## ハ

バージョンアップ ..... 28

バージョン情報 ..... 30, 34

## メ

メニュー画面の設定 ..... 35

メニューボタンの動作 ..... 36

# 本機能を利用できる機種とソフトウェアオプションのパスワード

本機能を利用できる機種と、利用時に設定が必要なソフトウェアオプションのパスワードは、次のとおりです。(2016 年 10 月現在)

機種名	パスワード
ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271	*1
ApeosPort-V C7780/C6680/C5580 DocuCentre-V C7780/C6680/C5580	QGVFRUEBEYDU@
ApeosPort-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275 DocuCentre-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275	XNMQZUTATSSS@
ApeosPort-V 7080/6080/5080 DocuCentre-V 7080/6080/5080	QZYOLJVWUJMG@
ApeosPort-V 4070/3070 DocuCentre-V4070/3070	NTYHGVXFJZHX@
Versant™ 80 Press Versant™ 180 Press	MYBF EQUIMSYM@
ApeosPort-V C7776/C6676/C5576/C4476/C3376/C2276 DocuCentre-V C7776/C6676/C5576/C4476/C3376/C2276	QMRJCCQLFGZE@
ApeosPort-V C7785/C6685/C5585 DocuCentre-V C7785/C6685/C5585	QCWXXIFRPTUO@
DocuCentre-V C2263	LSHBYNRXYUIH@
DocuCentre-V 3060/2060	FHRFVRLPXMAH@
DocuColor 7171P	LJBHDSVECOOI@
ApeosPort-V C3320 *2	FDVXLRWDCZQK@
ApeosPort-V 4020 *2	SIMJQXDPBBVS@

\*1 本機能を利用するためにパスワードは必要ありません。  
CentreWare Internet Services からカスタムサービスを有効化できます。

\*2 かんたんボックス保存だけをインストールできます。

対象機種は予告なく変更されることがあります。

## かんたんUIパッケージ スキャンオート かんたんボックス保存インストールガイド

著作者 - 富士ゼロックス株式会社  
発行者 - 富士ゼロックス株式会社

発行年月 - 2016 年 10 月 第 1 版

(帳票番号 : ME7574J1-2)